

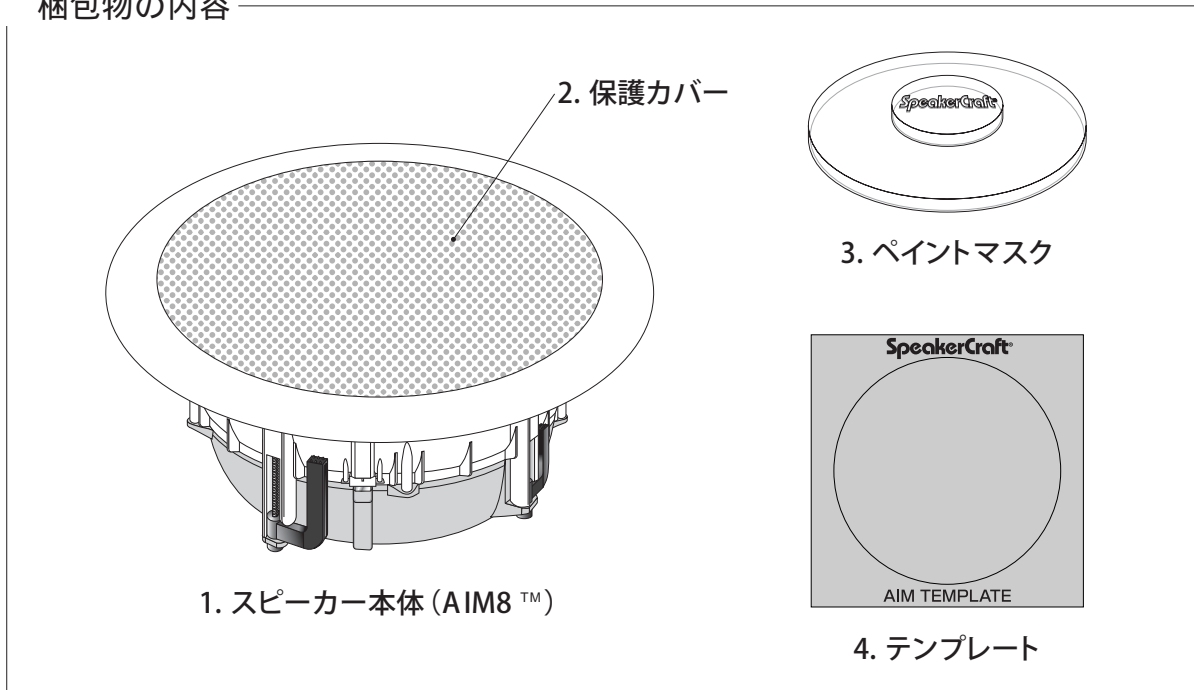
# AIM8™ シリーズ

## Aimable In-Ceiling Speakers

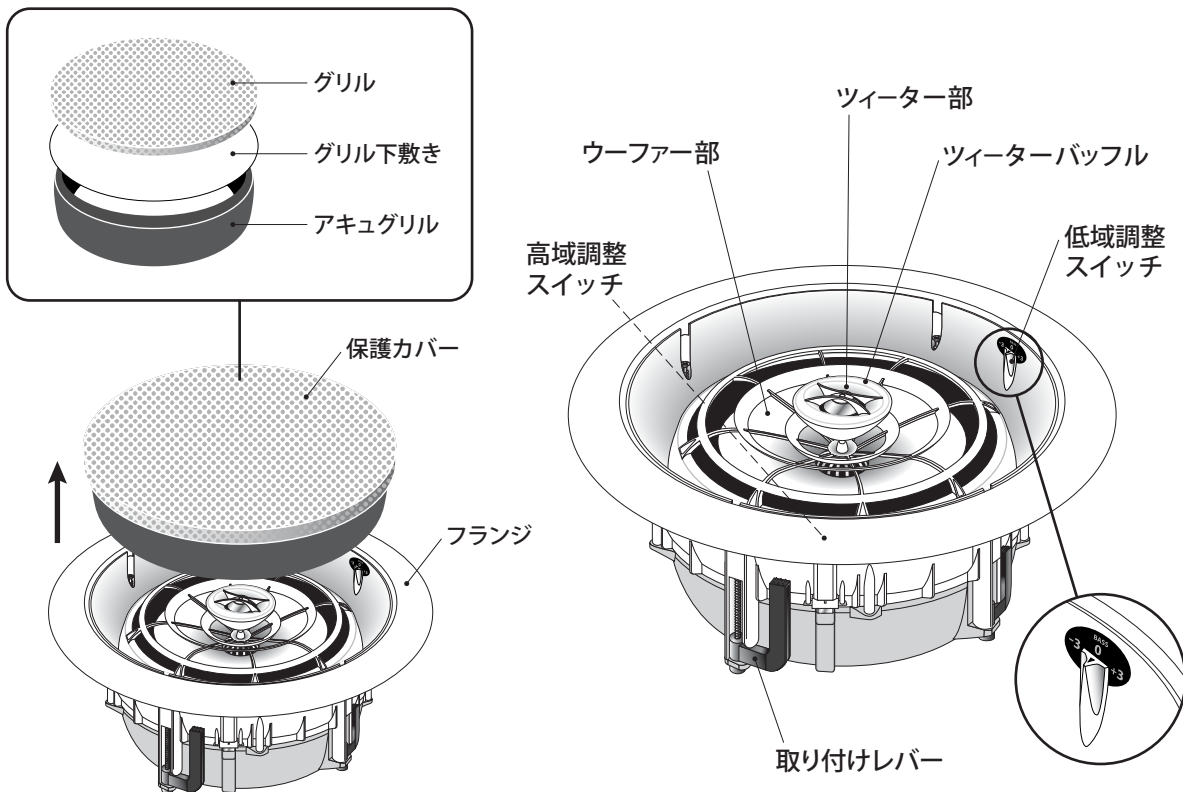
<イン・シーリング>スピーカー

### 取扱説明書

#### 梱包物の内容



#### 部位の名称



- この説明書をよくお読みのうえ、工事の専門技術者が施工を行なってください。
- 施工の際には本製品のサイズおよび重量を考慮し、必要に応じて取り付け箇所への補強処理などを行なってください。
- この説明書は、必ずお客様にお渡しください。

SpeakerCraft®

安全にご使用いただくために

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いいただきますようお願いいたします。お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容（図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



故障したままの使用はしない



電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

改造しない



分解禁止

●本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

水のかかるところに置かない



水場での使用禁止

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



●本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

水の入った容器を置かない



●本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

中に物を入れない



●本機の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

中に水や異物が入ったら



電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐにアンプの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

締めつけについて



●ネジなどによる締めつけは確実に行ってください。緩んだまま使用しますと、事故の原因となります。

天井面の切断について



●天井面を切断する場合は、切断面のカエリ、切りくずなどはきれいに取り除いてください。ケガ・火災・感電の原因となります。

取付け場所について



- 本製品は一般屋内専用です。湿気の多い場所、振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所等には、使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- スピーカーを取り付ける壁面や天井面の強度によっては、補強が必要な場合があります。

取付け後のご使用にあたって



- 取付け中、または取付け完了後に、本体にぶら下がったり、より掛かったり、むやみに力を加えたりしないでください。落下・破損の原因となります。



設置上の注意



- 移動させる場合は、アンプの電源スイッチを切り、スピーカーコードをはずしてから行ってください。落下や転倒など思わぬ事故の原因となります。

スピーカーコードは安全な場所へ



- スピーカーコードの配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。スピーカースタンドを使用した場合や高い所に置いた場合、壁に掛けた場合など、特にご注意ください。

次のような場所に置かない



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

接続について



- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。

使用上の注意



- 電源を入れる前にはアンプの音量（ボリューム）を最小にしてください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 長時間音がひずんだ状態で使わないでください。スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。スピーカーの磁気の影響で使えなくなったり、データが消失することがあります。

取付け場所について



- 本製品を天井面に取付ける際は、十分な強度のある平らな面を選んでください。



- 熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。近くで使用しますと、火災や事故の原因となることがあります。

音のエチケット / 楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



## スピーカーの配置

右の図1は、天井へのスピーカー埋め込みの推奨場所です。AIMスピーカーは、フロント左 (FL)、フロント右 (FR) への配置による2chステレオ用としてはもちろん、センター (C)、リア左 (RL)、リア右 (RR) を加え、計5ch のホームシアター用スピーカーとしてもご利用いただけます。

### 1. 主要リスニングエリアの決定

鑑賞時に一番良く座る場所をリスニングエリアとしてお考えください。

### 2. ステレオ用ペアスピーカーあるいはホームシアター5チャンネル用スピーカーの配置

スピーカー間の距離を考慮しなければなりません。そのためには、リスニングエリアを三角形の頂点と考え、そこから各スピーカーまでの距離を等しく取ります。図1のスピーカーの位置、FL (フロント左) とFR (フロント右) をご覧ください。この三角形上に表わされた2つの点にできるだけ近いところにスピーカーを配置してください。

これらのスピーカーが、ホームシアタースピーカーシステムの一部である場合は、スピーカーは、画面との一体感を考えるとスクリーンの左右の端から出ないほうが望ましいです。しかし定位感の確保のために、スクリーンから遠く離して設置する方がよい場合もあります。たとえば、テレビがちょうど部屋の角に配置されている場合などは、この方法がよいでしょう (図2参照)。

### 3. センタースピーカー(ホームシアター用)の配置

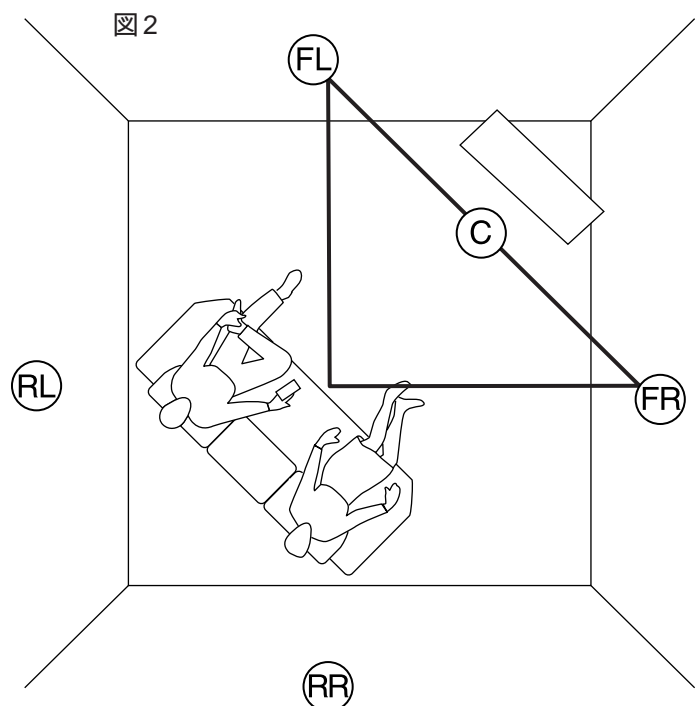
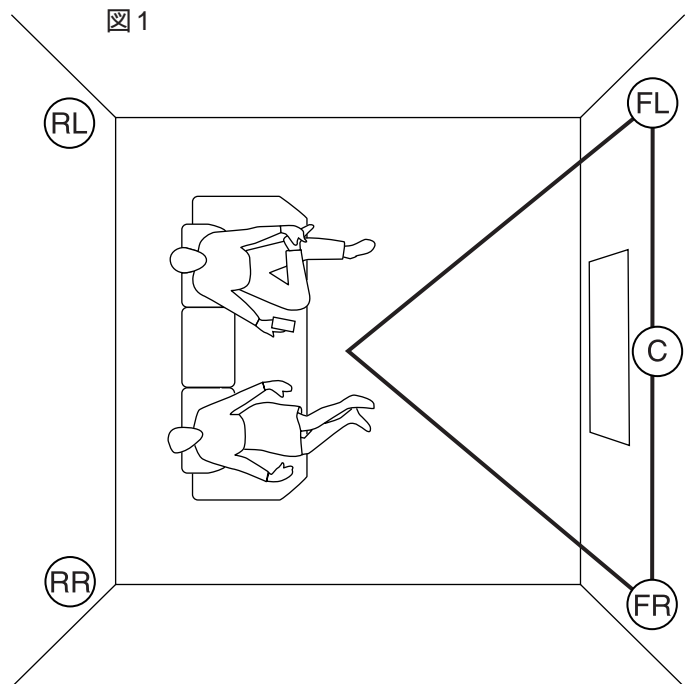
センタースピーカーは、フロント左スピーカーとフロント右スピーカーの間で、スクリーンの真上の線に合わせて配置してください。図1のCがセンタースピーカーの位置になります。

### 4. リアスピーカー(ホームシアター用)の配置

リアスピーカーは、リスニングエリアの後方に配置します。図1のRL (リア左) とRR (リア右) をご覧ください。

### 5. 障害物の確認

スピーカーの配置位置を決定する前に、天井の梁、胴縁、電線、配管、あるいは他の固定設備など、配置の障害になり得るものの位置を十分に考慮しておく必要があります。さらに、天井裏を実際に見たり、ホームセンターなどで販売されている間柱検索用具を使うなどで、どこが天井の梁なのかをあらかじめ見極めておくことをおすすめします。



## 設置時における注意点

実際にスピーカーを設置する前に、あらかじめスピーカーの設置位置までケーブルを配線しておいてください。

取り付け準備に関して、新築する天井へのスピーカー設置については以降の「●取り付け準備-新築用」を、建築済みの天井へのスピーカー設置については「●取り付け準備-建築済み天井用」をご参照ください。

### 取り付け準備 - 新築用

新築する天井にスピーカーを取り付ける場合は、以下の指示に従ってください。

#### 1. 配置位置の決定

4ページの「スピーカーの配置」の章に従って、天井のどの位置にスピーカーを配置するかを決めてください。特に「5. 障害物の確認」については、充分にご留意ください。

#### 2. ブラケットの取り付け

次に、必要に応じて新築用ブラケット(部品番号BKT-CRS8)を、説明書に従って取り付けてください。

#### 3. プラスターボードの設置場所の準備

ブラケットを取り付けることによって、プラスターボード切り出し部分の周囲を安定させ、スピーカーの取り付け場所を完璧な状態にします。

### 取り付け準備 - 建築済み天井用

建築済みの天井にスピーカーを取り付ける場合は、以下の指示に慎重に従ってください。

#### 1. 配置位置の決定

4ページの「スピーカーの配置」の章に従って、天井のどの位置にスピーカーを配置するかを決定します。

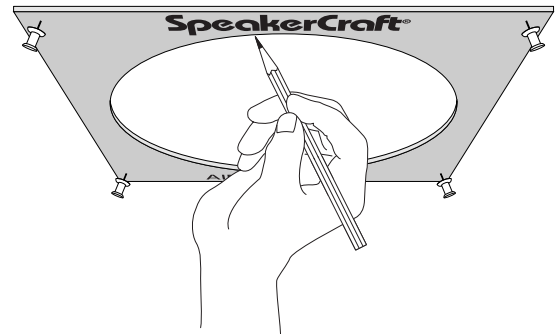
#### 2. 障害物の特定

希望するスピーカーの取り付け位置に最も近い梁を見つけてください。便利な間柱検索用具を使用されることをお勧めします。スピーカーの取り付けを計画している場所に、梁や障害物がないことを確かめてください。前章「スピーカーの配置」の「5. 障害物の確認」の手順に添って作業してください。

#### 3. テンプレートの型取り

決定されたスピーカーの設置位置に切り出し用テンプレートを置いてください。画びょうや粘着テープなどでテンプレートの位置を固定した後、鉛筆などでテンプレートの周りを型取ります。

図3



#### 4. 設置穴の切り取り

取り付け予定位置の内側の障害物の有無が分からない場合は、まず鉛筆で型取ったスペースの中央にドリル等で小さな穴を開けます。次にプラスターボード用のノコギリを使って、穴の内側の方向に45度前後の角度で切り込みを入れます(図4-①参照)。この角度で穴を開けると、もし場所を変更する時に、切り出したカケラを使うことによってプラスターボードの修復がたいへん楽になります。

(45度前後で切り込みを入れておくことで、プラスターボード本体との接着面積が大きくなります)

設置予定位置に障害物がないことを確認したら、今度はプラスターボードの表面に対して90度の角度で最終的な穴を開けていきます(図4-②参照)。

図4-1

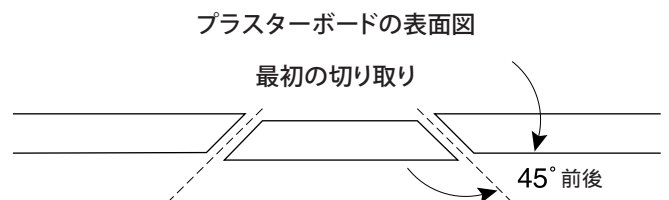
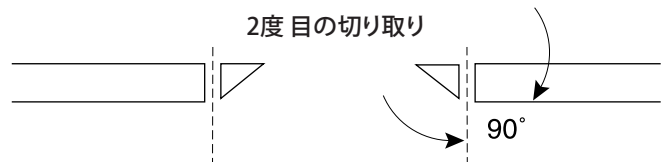
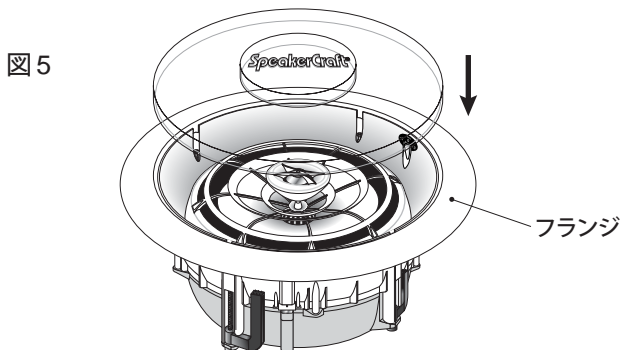


図4-2

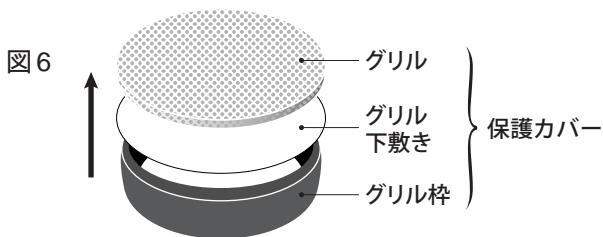


## スピーカーの塗料塗布

1. スピーカーに塗料を塗りたい場合は設置前等、スピーカーを壁から外した状態で作業されることをおすすめします。フランジに塗布する時は、同梱されているペイントマスクを保護カバーの代わりに取り付けてから行ってください。  
※保護カバーの外し方は、次の「スピーカーの設置」の欄を参考にしてください。



2. 保護カバーのグリル部にも塗料を塗ることが可能ですが、その場合はグリル部の穴を塞いでしまわないように細心の注意を払ってください。



3. まず、保護カバーをスピーカーから取り出し、次にグリルからグリル下敷きとグリル枠を外してください。グリルに塗料を塗った後、塗料が乾いたらグリル下敷きとグリル枠をもとに戻します。
4. グリル下敷きにも塗布する必要がある場合には、グリルの塗布と同じ手順で行ってください。
5. 各部位の塗装が完全に乾いてから、スピーカーを天井に装着してください。

★塗料は原液1、塗料薄め液5の割合で作った塗料を軽くスプレー塗布することをお勧めします。

## スピーカーの設置

1. まず、スピーカーについている保護カバーを取り外してください。保護カバーを固定している溝から保護カバーを外すためには、ラウンジ面を下にして両手で持ち、対角線の2ヶ所の取り付けレバーを外側に90度ほど開き(図7-①参照)、両手で同時にゆっくり下に押しってください(図7-②参照)。
2. 次にスピーカーケーブルを取り付けます(+と+、-と-になるように、アンプに正しい極を合わせてください)。必ずアンプの左チャンネルは左のスピーカーと接続し、右チャンネルは右のスピーカーと接続するようにしてください。

図7-1

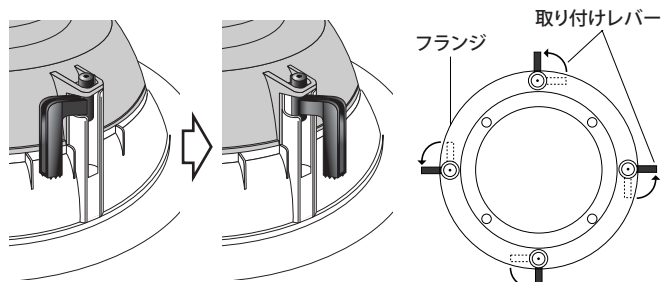
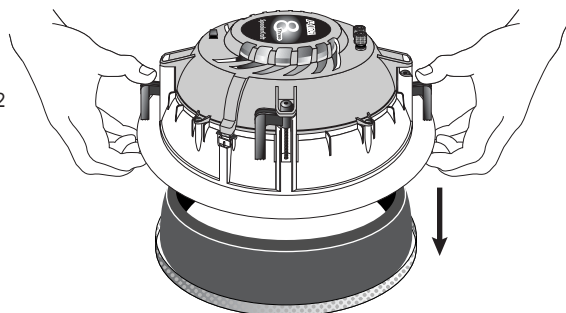


図7-2



※2ヶ所の取り付けレバーを外側に90度ほど開き、両手で同時にゆっくり下に押ししてください。

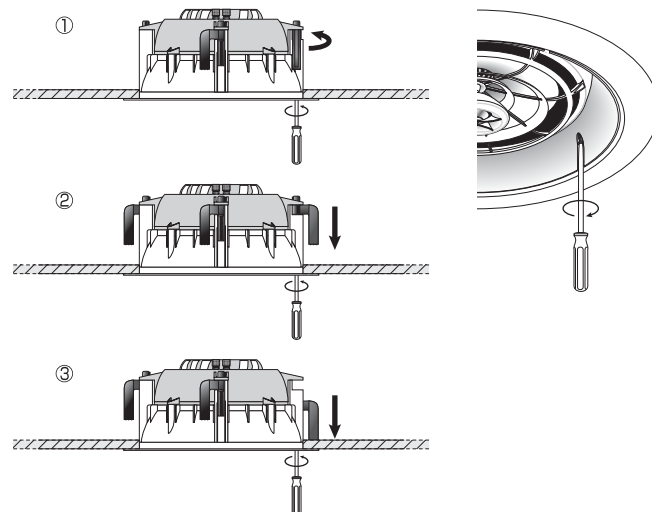
3. スピーカーを天井の穴の中に入れます。取り付けレバーを内側に曲げてじゃまにならないようにしてください。
4. フランジが天井にぴったりと合うように、前面の4つのネジを順番に締めます。ネジを締めていくにつれて天井の裏側で取り付けレバーが自動的に外側に開き、そのまま締め続けると天井面を固定していきます(図8参照)。

※スピーカーのフランジは天井の多少の湾曲にも順応しますが、過度に湾曲させますと保護カバーを装着しにくくなりますのでご注意ください。

5. 四隅のネジをしっかりと締めると完了です。

注意: ネジをきつく締めすぎると天井にひびをいかせたり、フランジを变形させたり、保護カバーを取り付けにくくさせたりするおそれがあります。

図8



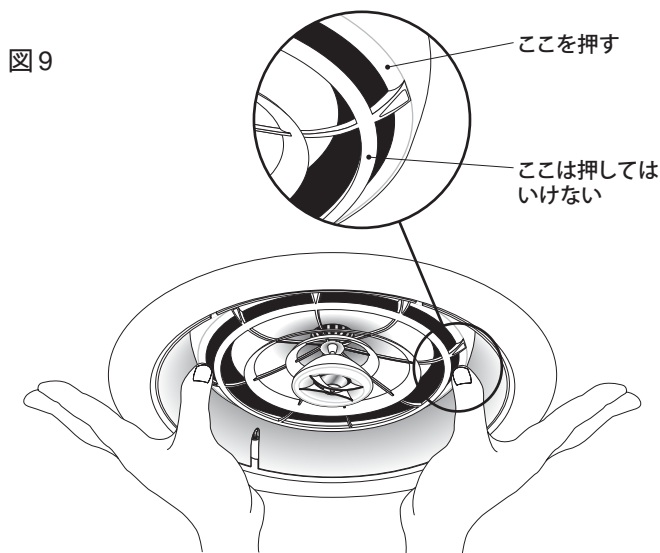
## 特殊な耐火壁への設置

このスピーカーを耐火された壁、あるいは新築の天井に設置する場合は、音響面からの配慮により本体の取り付け前に、別売エンクロージャー S E1410 -AIMをご使用ください。このエンクロージャーはスピーカーにスピーカーケーブルを直接接続するための標準電気クランプ型コネクタを備えていますので、ごく簡単に施工いただけます。

## スピーカーの調整

### ウーファー部の調整

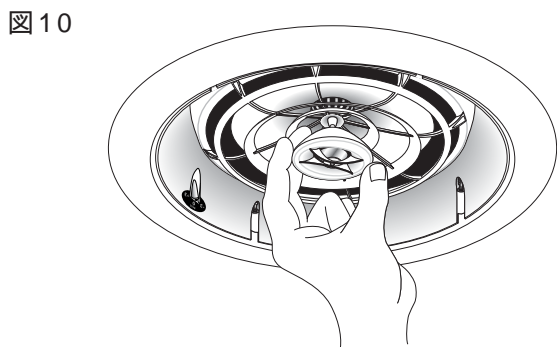
ウーファー部は全方向に対して30度可変 させることができますので、リスナーにとって最もよい方向に調整してください(図9参照)。



※調整の際は必ずウーファーユニットの外側を押して調整してください。決してツイーターバツフル部のドーム部分は押さないでください。ドーム部分の樹脂が折れる可能性があります。

### ツイーター部の調整

ツイーター部はウーファー部とは別に全方向に対して30度の可変ができます。ウーファー部の調整が終わった後で、最適な方向に動かしてください。調整の際はツイーターの縁を軽く持って行ってください(図10参照)。



## 周波数特性の調整

ウーファー部とツイーター部の出力は環境に合わせて調整できますが、最初は0dB のままにしておかれることをお勧めします。使われていく中で、必要に応じてリスナーの好みに調整してください。

### 設定の選択

希望する設定に合わせてスピーカーの前についているスイッチを指1本で動かすだけで、1つの設定を選択することができます(図11参照)。

### 周波数設定

設定を選択すると、以下のような結果を示します。

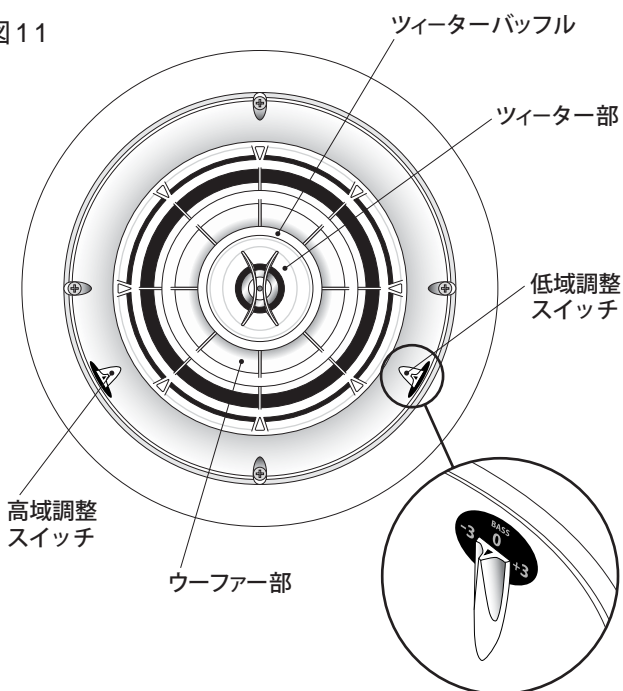
- 3dB : 選択された周波数の音の強さを減少させます。(低音部および高音部)
- 0dB : 選択された周波数(低音部および高音部)はフラットに設定されています。
- +3dB : 選択された周波数の音の強さを増加させます。(低音部および高音部)

BASS (低音)の調整によりスピーカーのインピーダンスが変化しますので、接続するアンプの許容インピーダンス範囲内に収まるようにご注意ください。

### ●BASS部調整 によるインピーダンスの変化

- 3dB ⇔ 8 Ω
- 0dB ⇔ 6 Ω
- +3dB ⇔ 4 Ω

図11



※ウーファーとツイーターの調整は、保護カバーを外した状態で行ってください。





■スピーカー仕様

	AIM8 FIVE	AIM8 THREE
ツイーター	2.5cmアルミマグネシウム合金ドーム型	2.5cmアルミニウムドーム型
ウーファー	20cmケブラーコーン型	20cmアルミニウムコーン型
再生インピーダンス	8/6/4Ω (BASS調整により変化)㊦	
入力感度	91dB(1W/1m)	89dB(1W/1m)
周波数特性	33Hz～20kHz ±2dB	37Hz～20kHz ±2dB
許容入力	5～150W	
直径×奥行き	29.0cm × 14.4cm	
カットアウト寸法	直径 25.0cm	
重 量	3.4kg	3.2kg

※製品の特徴や仕様が予告なく変更されることがあります。

SpeakerCraft 社製品ご相談・修理窓口のご案内

オンキヨーオーディオコールセンター

TEL : 050-3161-9555 (受付時間 10:00～18:00)

(土、日、祝日、弊社の定める休業日を除きます。)

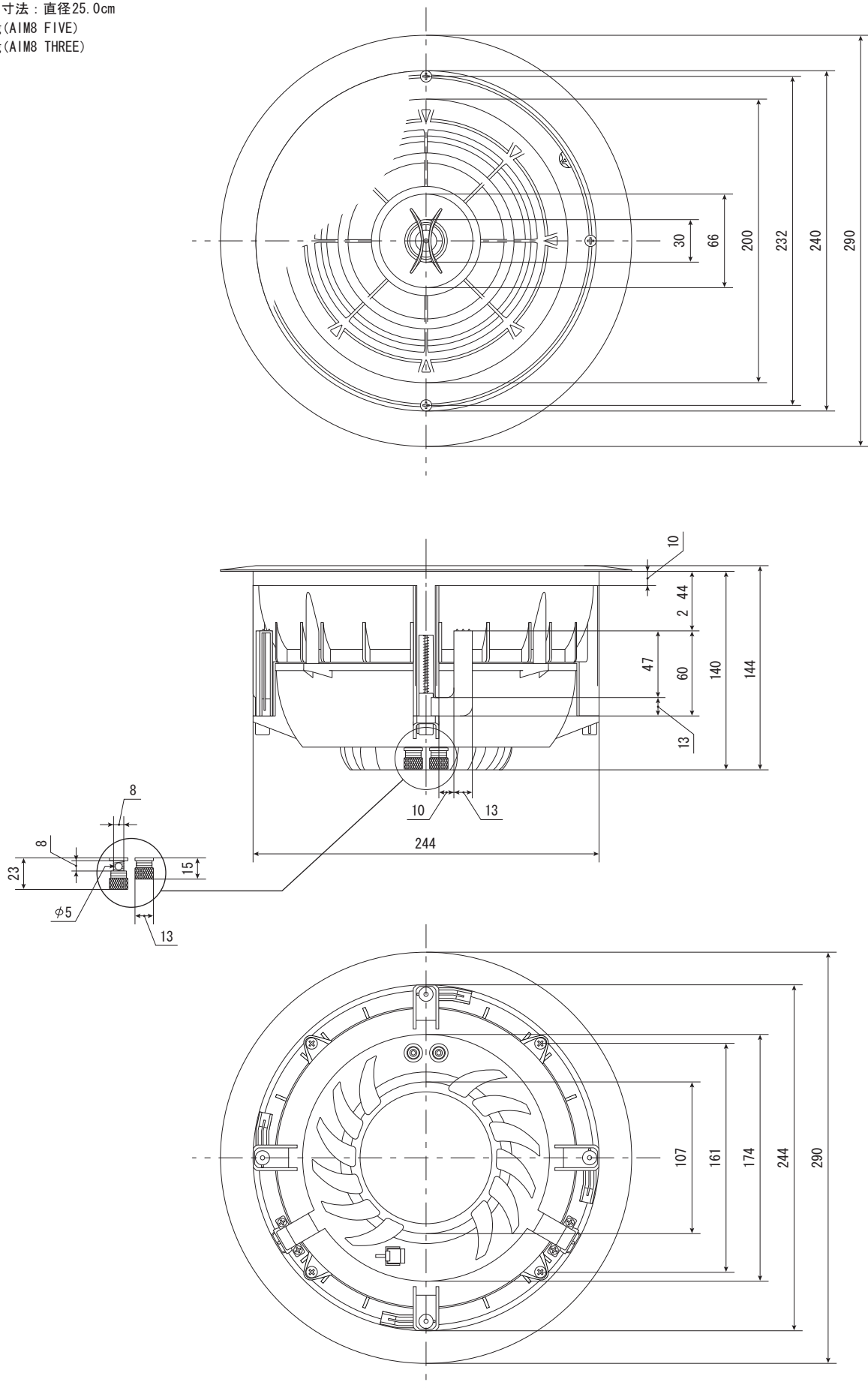
# AIM8™ 取扱説明書／実測図

外形寸法：直径29.0×高さ14.4cm

カットアウト寸法：直径25.0cm

重量：3.4kg (AIM8 FIVE)

3.2kg (AIM8 THREE)



# SpeakerCraft®

輸入販売元

**オンキヨーマーケティングジャパン株式会社**

東京都中央区八重洲 2-3-12 〒104-0028